

平成27年度 宝塚市自立支援協議会 第1回 全体会 議事概要報告

日 時：平成27年10月16日（木） 午後1時30分～午後4時

場 所：総合福祉センター 大ホール

出席者：20名

1 開会

2 会長挨拶 宝塚市自立支援協議会 会長

3 「第一部」

議題 専門部会活動報告結果について

(1) けんり・くらし部会<地域医療Gr>

「障がいがあっても安心して地域で医療が受けられる体制づくり」を目指して主に3つの大きな課題について協議してきた。

① 「医療用絵カード」と「受診サポート手帳」について

今後は知的障がい者の通所施設等の保護者会でも周知活動を行っていく。

② 18歳以降の重度の肢体障がいの方のリハビリについて

市内にリハビリを受ける機会も場も不足しており、リハビリを受けるには、市外へいく必要がある。今後も自立支援協議会としてどのような取り組みが可能か協議していく。

③ 精神障がいの方の医療の課題について

精神障がいの方が地域で安心して暮らせるための医療体制・相談体制について今後も協議していく。

ACT（※1）のような体制が望まれている。

※1 *A s s e r t i v e C o m m u n i t y T r e a t m e n t*

包括型地域生活支援プログラムと訳されている

(2) けんり・くらし部会<地域移行Gr>

①本人・家族のニーズの把握 ②住居の確保 ③地域啓発の3つの課題について協議してきた。

① ニーズの把握について

アンケートを実施。地域移行希望者は2名であった。その2名については追跡調査を実施していく。

② 住居確保について

宿泊施設を利用して、地域移行支援を受ける場合には、24時間の連絡体制の確保がとめられるため現状難しい。

神戸・大阪・岡山の住居情報についても共有を図った。

③ 地域啓発

地域の理解を進める方法については、今後検討していく。

今後の予定

アンケートから得られた結果や住居の問題、社会資源の活用等を検討し、現在、入所・入院している方が、自分らしい生活を選択できるような土台作りを検討していく。

(3) しごと部会

商工会議所からの寄付で宝塚市立病院、宝塚市立健康センター、宝塚市立口腔保健センターの3カ所に花壇を整備し、管理を障がいを持った方の仕事として提供できた。

福祉事業所合同説明会・雇用啓発セミナーを開催した。

共同受注窓口設置に向けた、勉強会を実施。先進的に取り組んでいる西宮市の同受注窓口のイメージを勉強会の参加者と共有する機会を設けた。

今後、来年度中に共同受注窓口を設置に向けて、より議論を深めていきたい。

(4) こども部会

昨年度に引き続き、教育と福祉の連携について話し合ってきた。連携の要になりえる計画相談支援に加え、そのために必要な支援連携体制の検討が必要。また、「たからっ子ノート」の見直しについてはワーキンググループを立ち上げ、まとめていきたい。

通学保障に関しては、今後も福祉と教育との連携を深めていくが、通学保障の実現にあたっては、地域のボランティアの協力も必要不可欠であるためボランティア確保のためにも、様々な機関と協力して取り組んでいく。

きょうだい児支援については、アンケートを作成しニーズ調査を行い現状確認していく。

4 「第二部」

議題 障害者差別解消法について

講演：「障害者権利条約、障害者差別解消法を知る」

～障がいのある人もない人も一緒に暮らす社会を目指して～

講師 明石市福祉部福祉総務課 障害者・高齢者支援担当課長 青木 志帆弁護士

5 閉会挨拶 自立支援協議会 副会長